

学校だより青南



12月号

平成28年12月1日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

青南の伝統

校長 関 幸治

学校だより、青南小は「開校110周年を迎えます」と書いたのが、今年の3月でした。子供たちが考えてくれた周年のテーマ「伝統・仲間・みどりでつながる 笑顔かがやく青南の子」とキャラクター、それから8か月の月日が流れ、11月26日に開校110周年記念式典が無事終了しました。記念式典に先立ち、11月18日には開校記念集会とスタンプラリーを行いました。多くの保護者の皆様にお越しいただいた第1部の集会は、各学年の思いのこもった出し物があり、全校で楽しむことができました。青南小学校の金管バンド Blue Heart の演奏で、最後に歌った全員合唱「喜びの歌」は、体育館が震えるほどの音の響きがあり、子供たちと教職員、その場にいた方々全てが一体となった演奏になったと思いました。青南小の誕生日を祝おうとしてくれる気持ちをとても嬉しく思いました。（この様子は、本校のホームページの動画でご覧いただけます。）第2部は、スタンプラリーを行いました。縦割り班で協力し、お店を出し、そして、そのお店をみんなで回りました。班長の6年生を中心に、全員協力していましたが、特に、6年生のリーダーシップが光っていました。また、それを補助する5年生の様子にも素晴らしいものがありました。まもなくリーダーを引き継ぐ5年生にとっては、その自覚が十分見られたと思います。その他の学年も全員で力を合わせてやっていこうという気持ちが見られました。6年生の思いが全員に伝わった、とても意義あるスタンプラリーとなりました。

開校110周年記念式典には、多くのご来賓、地域の皆様にお越しいただき、5・6年生が代表で参列しました。当日の式辞の中で、青南小学校開校以来流れているものは何かという話をしました。一生懸命学業に励むこと、人としての優しさ思いやりをもち、慈しみの心をもつこと、そういう人となってほしいという願いがあるということです。18,000人を超える卒業生も皆そういう気持ちでいてくれていると思います。そして、その思いをもって活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。子供たちには、そういう伝統のある学校に在籍していたという自負と自信をしっかりとってもらいたいと思っています。式典では、多くのご来賓が注目している中、最後まで姿勢を崩さず、とても立派な5・6年生姿に、多くの皆様からお褒めの言葉をいただきました。校長として、こんなに嬉しいことはありません。

式典は済みましたが、これで開校110周年が終わったわけではありません。この経験を基に、さらなる飛躍に向け子供たち共々努力していかなければならないと思っています。ここに至るまでの、保護者、地域の皆様のお力添えに感謝いたします。

《12月行事予定》

- 1日(木) 安全指導日
読書タイム
委員会活動
- 2日(金) 避難訓練
- 3日(土) 土曜授業
わくわくタイム(体育朝会)
- 5日(月) 全校朝会
歯科健診(4～6年)
- 6日(火) 4時間授業
研究授業(6年)
- 7日(水) B時程 4時間授業
Enjoy music(4年)
- 8日(木) 読書タイム
お話ポケット(1～3年)
歯科健診(1～3年)
クラブ活動(ロングクラブ)
- 9日(金) お話ポケット(6年)
出前授業 おさかな(5年)
保護者会(1～6年)
- 12日(月) 全校朝会
- 13日(火) 出前授業 JR東日本(5年)
- 14日(水) B時程
- 15日(木) 読書タイム
縦割り班活動
鋳仙会鑑賞(6年)
- 17日(土) 土曜授業
わくわくタイム(児童集会)
- 19日(月) 全校朝会
青南保育室交流(6年)
(～21日)
- 21日(水) B時程
給食終
- 22日(木) B時程 4時間授業
2学期終業式
大掃除
- 23日(金) 天皇誕生日
- 26日(月) 冬季休業日始まり
- 1月10日(火) 始業式 4時間授業
給食始 安全指導日

12月の生活目標

【学校をきれいにしよう】

生活指導部

9月から始まった2学期もあっという間に時が過ぎ、残すところあとわずかになりました。学期のまとめの時期です。

教室はもちろん、廊下や階段、特別教室などさまざまな場所をきれいに使えているか振り返り、「いつもありがとう」の気持ちをもって過ごすことを指導していきます。毎日使っている場所に感謝して、学校を隅々までピカピカにしていきます。

また、道具箱、鍵盤ハーモニカ、絵の具、習字セットなどの荷物は計画的に持ち帰ります。紙袋等の準備をお願い致します。3学期に備えて点検してもらえたらと思います。

身の回りの空間を整え、気持ちよく3学期が迎えられるよう、学校全体で取り組んでいきます。

【開校記念式典】

開校110周年を祝い、本校にゆかりのある方々にお集まりいただき開校記念式典をおこないました。在校生代表として5,6年生は式典に参加しました。式後のアトラクションでは、俳句のリズムで学校の歴史を振り、旧校歌や第2校歌「ひかりあふれて」を合唱しました。1年生のケーキのオブジェや2,3年生のフラワーアレンジメントで飾られた玄関ホールでは、昔から続くミニコンサートが開かれました。4年生の手作りのしおりや栽培委員会が育てた植物で作ったハーブティーがお客様にプレゼントされました。全校児童の心を込めた式典に参加された卒業生の皆様からは、「とても懐かしく心に響く1日となりました。」というお声が聞かれました。

〔3年〕 スポンジ星人がやってきた！

3年生は、図工の学習でスポンジを使って自分なりの宇宙人を作ります。アイディマンがたくさんいる3年生。1人1人が自分なりの設定で、イメージしながら作品を作り始めます。

スポンジをひねってみたり、切り込みを入れて挟んでみたりする子や、プチプチをつけてマントや羽にする子など、教室は素敵なアイディアで溢れます。細かいところにもこだわり、何度も「目はここがいいかな…」「このスポンジこの部分に合うかな…」などと悩み、調整します。また、近くの友達の作品を見て「それ、すごいね。」や「かわいい！」などの場面も見られました。

たくさんのアイディアを出しながら一生懸命取り組み、友達の作品を褒めることのできる純粋な心や感性を、これからも大切に育てていきたいと思います。



出汁について学びました！〔5年〕

寛政元年（1789年）創業からの225年の伝統の味を支える、出汁にまつわる和食のお話を、更科堀井の堀井先生に教えていただきました。

平成25年12月に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを、年中行事と絡めた食文化であることを視点にお話しいただきました。

また、実際に鰹節・煮干し・昆布の3種類の出汁を使って、グルタミン酸とイノシン酸の相乗効果を体験させていただきました。特に鰹節・煮干しのイノシン酸と醤油のグルタミン酸の相乗効果を実感した児童は「おいしい！」「分かる！」と声を上げていました。

出汁を学んだことで、これからの和食をさらに楽しむことができる経験をすることができました。



〔算数〕

算数は、新しい学習がたくさんあります。各学年の最近の新しい学習を紹介します。

【1年生】くり下がりのあるひき算を学習しました。早く計算できるように練習中です。

【2年生】かけ算九九の学習をしました。(1つ分)が(いくつ分)あるのかの意味をしっ
かり押さえた上で、頑張って暗記しています。

【3年生】初めてコンパスを使って、円をかきました。
上手にかけるように、練習しています。

【4年生】今までは、広い狭いでしたが、面積の単位を
使って、正しく表せるようになりました。

【5年生】比べ方の学習で、平均や混み具合をやりました。
日本・主な都道府県・港区の人口密度を求めると、びっくりすることが多くありました。

【6年生】反比例を学習しました。グラフに表すととても不思議な形になりました。



〔保健委員会〕

保健委員会では、健康で元気に生活が送れるようにするために、自分たちにできることを考えて活動をしています。水道の水質検査や、石鹼の補充という常時活動の他に、毎月、「規則正しい生活をしよう」「目を大切にしよう」等の保健目標を立て、生活習慣を見直せるように呼びかけています。他にも、ペットボトルの飲み物の糖度検査を行い、結果をまとめて紹介する活動をしました。普段口にしている飲み物の中には、多くの砂糖が含まれている物もあることを知り、飲み過ぎに気を付けることを伝えられました。

110周年記念集会のスタンプラリーでは、保健委員会
で人体パズルと小腸のクイズを作りました。消化器官の名
前やつくりを初めて知った子供たちも多く、「へーっ。」と
驚きの声があがっていました。楽しみながら、自分たちの
体のことを知る機会になりました。



〔アートクラブ〕

アートクラブは、作ることが大好きな
22名のメンバーで楽しく活動していま
す。紙粘土のマグネット作りや実際に使
える焼き物作り、2学期にはサンドブラ
ストという技法でガラスに模様をつける
加工等に挑戦しました。難しいところは
上級生が下級生に教えるなどして助け合
いながら、仲良く活動しています。ロン
グクラブでは、学校の近くにある秋山庄
太郎写真芸術館で、展示の鑑賞とワーク
ショップも予定しています。

〔サッカークラブ〕

サッカークラブは、広くなった第2校
庭で、4年生7人、5年生3人、6年生
9人の計19人で活動しています。6年
生が「どのチームも同じ力になるように」
と、一生懸命考えて分けた4つのチーム
で、毎回トーナメント戦を行っています。
練習や試合では、5・6年生が4年生に
優しく声をかけたり、経験者が未経験者
にアドバイスしたりして、学年や経験の
有無に関わらず、みんながサッカーを楽
しんでいます。